

訪問国活動

表敬訪問、ホームステイ、課題別視察を行う。訪問国では一人ひとりが Goodwill Ambassador- 親善大使としての役割を担っている。現地青年やホストファミリーとの交流を通して、人を知り、国を知り、気づいたらまた一人、大切な人が増えている。



表敬訪問、歓迎レセプション

国王陛下、大臣、日本国大使など各国の代表者にお会いし、直接お話を伺う貴重な機会である。この事業が国家レベルであることを改めて実感し、日本代表青年としての自覚に気が引き締まると同時に、誇らしさと光栄さが身に染みわたる。

第45回寄港地

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 11月10日～11月13日 | ムアラ（ブルネイ・ダルサラーム国） |
| 11月17日～11月20日 | マニラ（フィリピン共和国） |
| (11月18日～11月19日) | ダバオ（フィリピン共和国） ※代表団派遣 |
| 11月24日～11月27日 | バンコク（タイ王国） |
| 12月2日～12月5日 | ホーチミン市（ベトナム社会主義共和国） |



全員で着物を着用してレセプションに参加@ブルネイ



伝統料理を満喫@フィリピン



レセプションでの記念品交換@タイ



11 国合同でのパフォーマンス@タイ



文化交流会でのパフォーマンス（ラオス）@ベトナム



全参加青年を代表してのスピーチ@フィリピン



Welcome Reception では食事や交換される記念品から、各国の特徴が顕著に感じられました。私たちを美味しい料理と温かい心で盛大に迎えて下さったおもてなしにとっても感謝しています。



課題別視察

ディスカッション・グループ (DG) またはソリダリティー・グループ (SG) 毎に政府機関や現地企業、大学などを訪問し、現地社会の制度や文化について学ぶとともに、現地青年との交流を通して課題を認識し、社会に対する青年としての取り組みを考える。



シニアセンターを訪問、高齢者との交流@ブルネイ



マニラ交通局にて都市交通について学ぶ@フィリピン



日 ASEAN 交流についてグループワーク@ブルネイ



学生文化会館にて文化体験@ベトナム



Chandrakasem Rajabhat 大学生との交流@タイ



食文化の観光的応用について学ぶ@ベトナム



DG3 は、ブルネイ外務省の職員から ASEAN の歴史や意義についての講義を受けました。その後我々若者が日 ASEAN 関係促進のために何ができるか具体案を話し合い、有意義なディスカッションとなりました。

齊藤優奈



Chandrakasem Rajabhat University に到着すると、大勢の学生が迎えてくれました。主体的に行動し、私達の様子を常に気にかけてくれる姿に、タイ王国のホスピタリティを感じました。

吉川淳也



ホームステイ

参加青年は異なる国の参加青年が2人1組となり、日本を含む全訪問国において2泊3日のホームステイに参加する。現地の人々の暮らしを肌で、目で、口で、心で直に体験し、その国への親しみが一層深まるのを感じる。



民族衣装を体験@ブルネイ



マーケットを散策@フィリピン



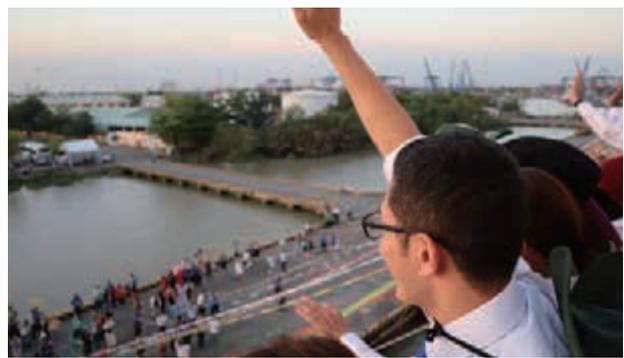
地元放送局のインタビューを受けることも@タイ



食卓を共に囲む@ベトナム



市街散策@タイ



再会を誓って



私のホストシスターは、第41回のフィリピン参加青年のユースリーダーでした。彼女のこの事業への思いに触れ、私も今後は受け入れ側として、Discoveryを続けていきたいとの思いが強まりました。

村井颯希



ホストファミリーの皆さんにとっても親切にして頂き、言葉を越えた心の交流の中で英語よりも大切なものの存在を感じました。

中島梓乃

